

さかいNPO協働大賞

南大阪子育て支援ネットワーク



- ◆事業名 企業とNPOが対等に対話し「共同子育て実現をめざす」堺プロジェクト
- ◆協働相手 大阪ガス株式会社、NPO法人 SAKAI 子育てトライアングル、特定非営利活動法人 SEIN
- ◆取組内容 子育てを当事者の役割だけとせず、社会全体の営みととらえ、孤立しない子育てを選択していく「共同子育て」の実現をめざして、住民・地域・企業・行政・大学など、同じ堺に住む様々な人々がコミュニティを形成し、しくみや支援を考える取り組み。具体的には、企業とNPOが対等に対話するネットワーク組織を設立し、共同子育ての啓発イベント、子育て当事者の新しい生き方の選択肢を広めるフォーラムや政策課題の提言を行うための円卓会議を開催する。今後は、子育て当事者の声を、子育て支援のみならず、マーケティング支援や二次創業支援にも活かし、住民、地域、企業、大学、そして社会へとつなげていく。
- ◆受賞理由 「共同子育て」実現をめざし、社会的な信頼と発信力を持つ企業と子育て当事者との繋がりを持つNPO法人がネットワークを形成し、子育て課題の分析、共有、事業設計、実行を市民主体で継続的に取り組むことで年々新しい展開が生まれる理想的な協働モデルである。また、円卓会議では3者だけでなく、子育てサークルや子ども支援団体も参加しており、今後さらなるネットワークの広がりが期待できる。

特別賞

特定非営利活動法人関西骨髄バンク推進協会



- ◆事業名 堺市域における骨髄移植等の推進事業
- ◆協働相手 堺市保健所
- ◆取組内容 骨髄移植に関する市民の理解の向上とドナー登録者や堺市民の移植ドナーの増加に取り組むため、堺市と「堺市域における骨髄移植等の推進にかかる協定」を締結し、両者の綿密な連携により堺市域において骨髄移植等推進の協働事業を展開する。具体的には、骨髄等の提供についての市民理解を促進するための講演会やチャリティー事業、骨髄等の提供者（ドナー）を増やすための献血併行型ドナー登録会や説明員研修会、骨髄等を提供したドナーに対し支援金を交付する事業等に取り組む。
- ◆受賞理由 当該事業では、お互いの考え方や立場を理解し適切な信頼関係が築けており、課題解決に向け対等な立場で連携していくという協働の良さが発揮された取り組みである。特に、現時点でクラウドファンディングの寄附の実績も上げていることから継続的な取り組みとして、堺市から今後全国へ広がっていくことが期待できる。

特別賞

特定非営利活動法人 cocoloito



- ◆事業名 「学びの場」から始める高齢者の生きがい作り
- ◆協働相手 鳳編物総合学院、公益財団法人日本手芸普及協会、大阪府立大学、株式会社川崎屋、株式会社クリーム、大阪芸術大学、株式会社インブルーヴ、株式会社大城、有限会社エムズ、シー・システム株式会社、クロバー株式会社、有限会社コース、丸安毛糸株式会社
- ◆取組内容 モデルである白鷺団地で高齢者等を対象に、「学びの場」と「集いの場」になる「編み物教室」を開催し、教室で学んだ技術を活かして、高齢者自身がニット商品の製作に関わり、販売による収入を得ることで、多世代間のコミュニケーションが広がり、作品販売による高齢者の生きがいづくりや「考える」「手を動かす」ことによる健康増進につながることを目的とした取り組み。
- ◆受賞理由 事業実施にあたり必要な協力者を多く集めており、協働のコーディネートが非常にうまい。編み物からスタートし、今後は陶芸・盆栽等、他のテーマや他の地域でも取り組むなど事業に広がりがあり、「高齢者の生きがい作り」のため有効な事業である。

◆選考方法◆

9件の応募案件について、堺市附属機関の設置等に関する条例第2条の規定により設置されたさかいNPO協働大賞選考委員会において、公益性、協働力、実行性、継続性、新規性を評価項目として書類による一次審査、プレゼンテーションによる二次審査を行いました。さかいNPO協働大賞は、各委員の合計点を総計し、点数が最も高い団体に、また、特別賞については、さかいNPO協働大賞を受賞した団体を除き、各委員の「協働力」及び「継続性」の項目を合計して点数の最も高い団体に決定しました。

※さかいNPO協働大賞選考委員会（敬称略）

京都産業大学経営学部ソーシャルマネジメント学科 教授 佐々木利廣【委員長】
桃山学院大学社会学部社会学科 准教授 上野淳子
株式会社羽車 代表取締役 杉浦正樹
株式会社日本政策金融公庫堺支店国民生活事業統括 土井隆
社会福祉法人大阪ボランティア協会事務局長 永井美佳